（様式1）

学校番号	44	学校名	茨城県立波崎柳川高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
地教行法
茨城県高等学校管理規則
学習指導要領

保護者の願い

安全で充実した学校生活を送り、個性を伸張し社会性を身につけ、一人ひとりの進路希望を実現してほしい。

校訓

転石たれ

学校の教育目標

教育基本法ならびに学校教育法の精神に則り、地域社会の要望に応えながら豊かな人間性と人格の形成を図り、社会に貢献する人間の育成を積極的に推進する。

道徳教育重点目標

1　広い視野を持ち、社会に通用する人間を育成する。
2　人格を尊重し、自主性を伸ばす。
3　規範意識を高める。

生徒の実態

・基本的生活習慣が確立されておらずマナーや身だしなみの整っていない生徒が多い。
・家庭学習の習慣が身についていない生徒がいる。
・部活動には意欲的に参加しているが、部活動加入者が減少傾向にある。

地域の実態

学校は鹿島臨海工業地域と農村地域の間に立地している。全体的に落ち着いているが、一部に治安の良くない地区がある。

各教科・科目

国語	古典や名作を通して豊かな人間性を養う。
地歴	日本の伝統や文化への理解を深め、諸外国に関する知識を身につけ、異文化に敬意を払う態度を養う。
数学	数学の概念や法則の理解を深め、論理的思考力を養う。
理科	自然に対する関心や探究心を深め、日常生活を科学的に考察する態度を養う。
保体	体力の向上や健康・安全への理解を深め、生涯にわたり運動に親しむ態度を養う。
芸術	感性を高め、豊かな情操を養い道徳性の基礎を培う。
外国語	言語や文化に対する知識を高め、異文化と共生し、異文化を敬う態度を養う。
家庭	人間の健全な発達と生活を総合的にとらえ、相互に尊重する人間関係を育成する。
情報	情報化社会に対応する知識と技能を修得するとともに、情報モラルや情報リテラシーを養う。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

特別活動

ホームルーム活動

・学級の一員である自覚を持たせ、学級活動の充実を目指す。
・規範意識の高揚と、ルールを遵守する態度の育成を図る。
・愛校心や学校への所属感を高め、より良い校風を創造する。

1　基本的生活習慣を確立させる。
2　規範意識・正義感・責任感を持たせる。
3　公共心・公徳心や奉仕の気持ちを持たせる。
4　集団行動意識・帰属意識を向上させる。
5　学校行事に積極的に参加させ、心身を鍛え、学校生活を充実させる。
6　生命や人権を尊重する心を持たせる。

公民科

公共

・社会的事象から現代社会を生きる人間としての在り方について探求する。
・現代の諸問題について主体的に考え、公平・公正に判断し、行動できる能力を育てる。
・平和で民主的な国家及び社会的優位な形成者に必要な公民としての能力・資質・態度を育てる。

1　社会との関わりについて理解させる。
2　現代の諸課題を追究したり解決したりする。
3　メディア・リテラシーついて正しく理解させる。
4　多面的・多角的な考察や理解を促す活動をする。
5　他者と共に生きる自らの生き方について考察させる。
6　生命や人権を尊重する心を持たせる。

生徒指導

・身だしなみを整えさせる。
・清掃を徹底させる。
・あいさつの励行と礼儀作法を身につけさせる。
・時間厳守の習慣を養う。
・定期的にマナーアップ運動を行い、服装頭髪指導や交通安全指導を実施して規範意識を高める。
・授業を大切にする態度を育み、学力の定着につなげる。
・ルール遵守を認識させ、社会の一員としての自覚を持たせる。

家庭との連携

・学年通信や学級通信等で学校の情報を積極的に発信する。
・個人面談（二者面談）や三者面談を計画的に実施し、家庭と共通認識を持って指導する。
・進路情報を提供し、進路相談等を実施して進路希望の実現に生かす。
・学校のホームページに随時新しい情報を掲載し、最新情報の提供に努める。

地域社会との連携

・生徒指導連絡協議会や社会福祉関係の行事に積極的に参加し、地域の現状や課題を把握する。
・PTA・後援会・同窓会活動から地域の意見を取り上げる。
・海岸清掃等のボランティアを実施し、また、各種ボランティア活動への積極的な参加を促し、地域社会に貢献する人材を育成する。
・出前授業や部活動の交流等を行い、近隣の中学校と連携する。